



DoKoネット

18
October. 2013

教学の原点をみつめて 会長挨拶

橋詰 源治 同志社大学理工学部同窓会 会長

理工学部近況報告

辻 幹男 同志社大学理工学部長、同志社大学理工学部大学院 理工学研究科長
同志社理工学会会長

特集 企画部長になって感じる「校友の愛校心」 藤原 耕二 同志社大学 企画部長
電気工学科教授

高等研究教育機構紹介と次世代科学者育成 和田 元 高等研究教育機構 副機構長
電気工学科教授



What's New!

加納航治先生・雨谷昭弘先生・小泉孝之先生退職記念事業
50周年記念愛友会・比叡会・新葉会開催案内

同窓会活動・リユニオン

同窓会幹事会記録・2013年度同窓会総会・リユニオン案内・次期役員候補推薦

教学の原点をみつめて

理工学部同窓会員の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

アベノミクスのおかげで景気回復がわずかながら感じられ、少し元気を取りもどしてきたのではないのでしょうか。

本年4月から今出川校地は一層立派になり、大変喜ばしいことです。

今年6月に函館・津軽方面へ旅行に行きました。大学3年生の時に友人5人と北海道一周旅行をしましたが、函館の新島先生脱出の地は見えていませんでしたので、この機会を楽しみに行きました。

洋館や教会など歴史的建築が多数並ぶ異国情緒溢れる元町の海岸に旧港があり、海外渡航の記念碑がありました。海岸通りには小舟に乗られたブロンズ像もあり、約150年前を再現しています。



今年NHKの大河ドラマに山本覚馬、八重夫人など同志社創立時のご苦労が我々に大変感動を与えています。学生時代に知らなかった事が多く、現在では情報が簡単に手に入り、詳しく解説され卒業生としても解りやすい放送でありました。

改めて立派な大学で学んだ事に自信と誇りを持たなければと深く思いました。

教学の原点をみつめ直し、会員皆様それぞれの良心を大切にご活躍され、今後のご健勝をお祈り申し上げます。



同志社大学理工学部同窓会 会長

橋詰 源治

昭和43(1968)年 電気工学科卒
（株）橋詰電気工業所 代表取締役

理工学部近況報告

本年4月から神学部、文学部、法学部、経済学部、商学部の5学部の1,2回生が京田辺キャンパスでなく今出川キャンパスで講義を受けることになり、社会学部、政策学部、新設のグローバル地域文化学部と合わせて8学部体制となった今出川キャンパスが溢れんばかりの学生で活気のある様子を呈しているのに対し、理工学部、文化情報学部、生命医科学部、スポーツ健康科学部、心理学部、グローバルコミュニケーション学部の6学部体制の京田辺キャンパスは予期していたものの、やはり大分寂しくなりました。人数的に見ても京田辺キャンパスと今出川キャンパスにおける学部学生数は昨年度までの約16,000人と約13,000人に対し、本年度は約7,000人が移動し、約9,000人と約20,000人となりましたから、約半分弱の学生が京田辺キャンパスからいなくなりました。今後の京田辺キャンパスの活性化をどのように進めていくかが大きな課題であり、同窓生の皆様にもご助言等をいただければと思っております。

毎年11月開催の大学のホームカミングデーに合わせて行われます理工学部同窓会総会・リユニオンが同窓生の皆様と理工学部教職員が直接お話できる1つの場ですので、是非多くの方にご出席いただきたいと思っております。また、京都での同窓会総会以外でも毎年全国7都市で開催されておりますキャンパスフェスタには、理工学部の教員も必ず1名乃至2名は参加しております。本年度は11月後半の開催となる秋田、山口を残しまして、すでに岐阜、福島、東京、大分、高知の開催は終了しましたが、来年以降、京都まではなかなか足を運ぶ機会のない同窓生の皆様もお近くの都市で開催されるキャンパスフェスタにご参加賜り、理工学部へのご意見、御助言等をいただけたらと思っております。

最後に、前回のDoKoネットにも書かせていただきましたが、1944年に工業専門学校として発足以来、来年で理工学部は70周年を迎えます。その節目に70年史の発行を企画し、同窓会の皆様の御協力のもとで現在編集作業が順調に進められております。来年度早々には完成予定ですので、お楽しみにいただければと思っております。



同志社大学理工学部長
同志社大学理工学部大学院 理工学研究科長
同志社理工学会会長

辻 幹男

昭和51(1976)年 電子工学科卒
昭和56(1981)年 大学院(後期課程)修了

企画部長になって感じる「校友の愛校心」

理工学部同窓会のみなさん、こんにちは。電気工学科の藤原です。今回は、本年4月から兼任している企画部長としての寄稿です。まず、企画部について紹介させて戴きます。企画部は企画室と広報室で構成されており、広報室には広報課の他に校友・父母課があります。校友・父母課は、その名の通り、校友の方々との窓口です。キャンパスフェスタやホームカミングデーなどを担当している関係で、各都道府県で立ち上げられている校友会支部の懇親会に呼んで戴ける機会も多く、OB・OGの方々から叱咤激励を受けています。懇親会の締めは、必ずと言っていいほど、「Doshisha College Song」および「Doshisha Cheer」です。校友の方々との一体感を多少なりとも味わえるようになり、複数の先生から助言された「上記の2曲を歌えることは、重要な仕事の一つ」を実感した次第です。どうぞ、お住まいの地域にある支部にご連絡ください。新鮮で有益な情報が、支部から届くようになります。不明な点があれば、校友・父母課にコンタクトをお願いします。

大阪サテライト・オフィスや東京オフィス、湖西線沿いの北小松にある同志社びわこリトリートセンターも守備範囲です。大阪サテライト・オフィスや東京オフィスは、就職活動で活用されたご経験があるのではないのでしょうか。リトリートセンターは、フレッシュマンキャンプやゼミ合宿などで利用された方々もたくさんいらっしゃると思います。在学生や教職員だけでなく、卒業生も利用できますので、同期会や家族旅行などにご利用ください。食器の数の関係で制限はありますが、仏料理のフルコースもお楽しみ戴けます。大学のホームページから、Web予約が可能です。

さて、本年度の理工学部同窓会の総会・リユニオンは、ホームカミングデーに合わせて、11 / 10(日)に今出川キャンパスで開催される予定です。「卒業生交流レセプション」に引き続いて、「総会」および「講演会」(講師:大越哲仁先生、演題:『洋学者としての新島襄と山本覚馬・八重兄妹』)が計画されています。是非お越し戴き、中学校跡地に新設した「良心館」や、今出川キャンパスを少し北に上がる烏丸キャンパスの「志高館」なども見て戴ければ幸いです。

その他の情報としては、ハリス理化学館は改装されて新しく「ハリス理化学館同志社ギャラリー」として11/29(金)にオープンします。第1回企画展のテーマは「新島襄と八重」で、2/28(金)までの予定です。足を運んで戴ければ幸いです。また、「学長日誌」や「同志社大学公式facebook」などの新しい試みも始めていますので、是非、ホームページをご覧戴ければと思います。2月には、校友会の大懇親会が京都で開催される予定です。最後になりましたが、同窓生の皆様のご協力なしに、大学の発展を加速することはできませんので、何卒、宜しくお願い申し上げます。



同志社大学 企画部長
電気工学科教授

藤原 耕二

岡山大学より2006年10月、電気機器研究室に着任

高等研究教育機構紹介と次世代科学者育成

高等研究教育機構 (www.doshisha.ac.jp/research/advance/advance.html) は本学の大学院研究教育の高度化を推進する目的で設置されています。この機構には、文部科学省の21世紀COEプログラム事業と私立大学戦略的研究基盤形成支援事業などの研究センターが設置されており、最近では理工学部の関係では本誌の上田光明先生ご紹介の博士課程教育リーディングプログラムの「グローバル・リソース・マネジメントプログラム(GRM)」も実施しています。

ここでは今年から実施されている文部科学省の科学技術振興機構(JST)が行う「次世代科学者育成プログラム」を紹介します。本プログラムは、理数分野に高い意欲・能力を有する児童生徒を募り、大学入学前に高校生へ大学から働きかけるもので、体系的な教育プログラムを開発し実施します。同志社大学では、学内高等学校および大学近隣の高等学校を中心に、大学教員が訪問し、簡単なデモ実験を行うなどの活動を通して高校生のプログラム参加を募り、演習・実験に基づいた自発的な学びの過程で高校生を育てます。生命・物理・化学系の実験、電子回路や模型の製作などを行わせ、大学の研究者がインターネットを利用し研究指導を行うもので、模擬実験はすでに3回実施しました。

理工学部として同志社学内高校低学年生に向けた理工学部見学体験学習会『理工学部を楽しもう』という新しい取り組みを昨年(2012年)より実施し、理工学部に関連する自然科学に興味をもってもらう試みを実施しています。学内4高校(同志社高校、同志社香里高校、同志社女子高校、同志社国際高校)の1年生2年生が昨年は335名、今年は国際高校が授業日にあたり参加者は201名で実施されました。各班に約10人ずつ分かれて80分の実験体験を専門の教員の指導で行いました。写真は機械系の実験の一つ「ロケットを作ってみよう」の硬式野球場での発射実験の様子、そのほか情報系、電気系、化学系、環境、数理学科の8テーマが実施されました。



化学系学科ではこれ以外に本誌北岸先生ご紹介の「夢・化学21」により高校生を大学に招き、実験を体験してもらうことを永年行っておられます。



高等研究教育機構 副機構長
電気工学科教授

和田 元

昭和51(1976)年 電子工学科卒
昭和53(1978)年 大学院(前期課程)修了

各学科紹介

インテリジェント情報工学科, 情報システムデザイン学科

情報系として現在の学科名に改編されてインテリジェント情報工学科は7年, 情報システムデザイン学科は9年になります。

就職については, 多少の改善は見られるものの相変わらず厳しい状況が続く経済環境の中で健闘し, 昨年を上回る堅調な実績を挙げております。

研究に関しては, 関係論的システムデザイン研究センターとモビリティ研究センターでは, それぞれ, 心の豊かさや“つながり”を実感できる社会情報基盤, および将来に向けたモビリティ変革を実現するための新技術の研究開発を進めています。また, 学外にも活動の輪を広げる知的オフィス環境推進協議会等を通して, 知的照明システム技術の実用化研究も推し進めています。

情報系教員の構成として, 知的システムデザイン研究室の吉見真聡助教が2012年9月末に退職され, 2013年3月末には情報数理工学研究室の渡辺陽一郎教授が定年退職されました。2013年4月には, 情報数理工学研究室の吉田雅一助教と知的システムデザイン研究室の間博人助教をお迎えしました。

【インテリジェント情報工学科】情報数理工学研究室(程俊教授, 吉田雅一助教), 情報システム学研究室(金田重郎教授, 芳賀博英教授), 知識情報処理研究室(渡部広一教授, 土屋誠司准教授), 知的機構研究室(坂東敏博准教授), 知的システムデザイン研究室(三木光範教授, 間博人助教), 知能メカトロ情報システム研究室(橋本雅文教授)

【情報システムデザイン学科】社会情報学研究室(下原勝憲教授, タネヴ イヴァン教授), 知能メカトロ情報システム研究室(高橋和彦教授), 共創情報学研究室(片桐滋教授, 大崎美穂准教授), 応用メディア情報研究室(大久保雅史教授, 土屋隆生教授), ネットワーク情報システム研究室(佐藤健哉教授, 小坂隆浩准教授), 音声言語処理機構研究室(山本誠一教授, 西田昌史准教授)。
教務主任 片桐 滋



渡辺陽一郎教授(退職) 吉見真聡助教(退職)



吉田雅一助教(新任) 間博人助教(新任)

電気工学科, 電子工学科

電気系学科では, 学力のさらなる充実を目指して電気回路学, 電気磁気学などの基礎科目を重視しています。1年次春学期の「ゼミ演習」では少人数クラスで電気回路学の基礎を学ぶほか, 今出川キャンパスを訪れ, 電気設備見学の合間に同志社の歴史に触れる機会も設けています。また1-3年次の各学期で実験科目を設置しており, 低学年では基本計測器の取り扱いや製作実験テーマを中心に, 「ものづくり」に親しみながら学ぶカリキュラムを導入しています。3年次秋学期の電気工学実験Ⅱと電子工学実験Ⅱのプレゼミ配属では, 研究室体験を通じて卒業研究の一端に触れるとともに, 教員や上級生との交流を深めるプログラムも用意しています。これらのプログラムでは, 各学生の将来設計(就職や大学院進学)の意識を高める効果も表れています。卒業生の就職状況は変わらず良好です。

大学院博士課程前期課程では科学技術英語の必修科目を設置しているほか, 学期毎にポスターによる研究内容の発表会を行っています。発表の審査は全教員が参加して行いますが, 院生のみなさんがお互いに評価・刺激しあう良い機会にもなっているようです。また, 近年は国際学会での発表だけでなく, 院生の国際ジャーナルへの論文投稿も増えてきました。研究室には国際科学技術コース前期課程の留学生も所属しており, ますますグローバルな環境が育ちつつあります。

このような研究・教育を支えるプロジェクトとして, 電気系は文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「総合的電力・通信社会環境の形成プロジェクト」(2010年より)に採択されるとともに, 博士課程教育プログラム「グローバル・リソース・マネジメント(GRM)」(2012年より)にも参画し, 活発な活動を行っています。また, 今年度はJSTの「次世代科学者育成プログラム」にも採択され, 「科学に挑戦する」高校生のみなさんとの共同プロジェクトが始まっています。

電気系教員の動きとしては, この2013年3月には5年間ご活躍いただいた木村恭之助教と向平敦史助教が退職されました。4月には三木啓司助教を応用数学研究室にお迎えし, 新しい体制で研究・教育を進めております。今後も教員一同, 研究・教育に邁進いたしたいと存じます。
教務主任 松川 真美



機械システム工学科, エネルギー機械工学科

本年度も高い競争率を突破した, 両学科併せて計 154 名の学生が入学しました. 一方, 大学院には 88 名が入学し, 計 184 名が博士課程前期(修士)に, 博士課程後期(博士)には計 15 名が在籍しています. 京大等の他大学への進学者を含めると, 進学率は 2/3 以上に達しています. これほど多くの学生が大学院博士課程前期に進学するようになったのは, 本学科において普段から「意欲ある学生」には大学院(理工学研究科機械工学専攻)への進学を勧めていることと社会情勢の変化によると考えています.



土屋和雄教授(退職) 新國裕昭助教(退職) 松村恵理子准教授(新任)

機械工学専攻では, 2011 年 4 月から「安全技術者養成コース」が開設されていますが, 今年度は 39 名の大学院生が本コースを登録しています. これらの学生は, 「リスクマネジメント」(春学期)と「安全工学」(秋学期)の二つの科目を受講します. さらに, 実習科目「安全安心実習」では, 国内外の企業現場でインターンシップ活動を行って「安全・安心」に対する基礎知識を身につけます.

また, 国際化拠点整備事業(グローバル 30)と連携して開設された, 英語で講義される科目のみを受講して修士学位が取得できる「国際科学技術コース」には 8 名の正規学生と, 研究を主目的に期間が 1 年未満の特別学生 4 名が在籍しています. 学生はいずれも外国籍で, 国際的に活躍できる高度な人材を目指しながら機械工学を学んでいます.

企業からの求人も順調で, 本年度は 313 名の修了および卒業見込み者数に対して, 約 1,500 件の求人があります. 2013 年 3 月末における学生の就職率は例年通り 100% を維持しています.

2013 年 3 月には土屋和雄(任期付)教授が, 9 月には新國裕昭(任期付)助教が退職されました. 一方, 2013 年 4 月より松村恵理子准教授が機械系学科のメンバーとして新たに加われました. また, 原敬名誉教授が永年にわたって教育・研究活動にご尽力された功績により, 名誉ある瑞宝章中綬章を受けられました. 教務主任 辻内 伸好

機能分子・生命化学科, 化学システム創成工学科

化学系 2 学科は改編から今年で 6 年目を迎え, それぞれ, 「分子の性質を活用して先端領域を開く - 次世代を担う化学のスペシャリストへ」と「化学と化学工学を使いこなして, 人と環境にやさしい化学システムの創成をめざす」をモットーに, 教育・研究に従事しております. 両学科の上に構成される大学院も, 昨年度理工学研究科に改編され, 本年度末にはじめての応用化学専攻の修了生を出すことになります.

昨年度末の就職率も学部卒, 大学院修了ともに 100% を達成することができております. しかし楽観はできず, アベノミクス効果が徐々に浸透していると企業側から聞こえてはくるものの, 就職状況に反映されるまでには至っておらず, まだ何人かの学生が就職活動を続けています.

教員の動きに関しては, 長きにわたり本学に御奉職いただきました化学システム創成工学科の高野頌教授ならびに機能分子・生命化学科の青山安宏教授が本年 3 月に退職されました. また, 4 月から木村佳文教授ならびに土井貴之准教授を機能分子・生命化学科にお迎えし, 新しい体制で研究教育を進めています.

【機能分子・生命化学科】電気化学(稲葉稔教授・土井貴之准教授), 高分子化学(東信行教授・古賀智之准教授・松本孝広実験講師), 無機合成化学(廣田健教授・加藤将樹教授), 機能有機化学(加納航治教授・北岸宏亮助教), 物理化学(木村佳文教授・八坂能郎助教), 生体機能化学(水谷義教授), 分子生命化学(小寺政人教授・人見穰准教授・大西慶一郎実験講師), 【化学システム創成工学科】粉体工学(日高重助教授・白川善幸教授・下坂厚子実験講師), 移動現象(森康維教授・土屋活美教授), 材料システム(伊藤正行教授), 生物化学工学(近藤和生教授・松本道明教授), 計測分離工学(塚越一彦教授・橋本雅彦准教授・田村隆実験講師), 分子化学工学(塩井章久教授・山本大吾助教). なお, 4 月より古賀智之准教授がアメリカに半年間留学されています.



高野頌教授(退職) 青山安宏教授(退職)



木村佳文教授(新任) 土井貴之准教授(新任)

教務主任 白川 善幸

環境システム学科

2004年の学科開設以来、丸9年が経ち、本年4月で10年目の春を迎えることになりました。この3月には6回目の卒業生を送り出したこととなります。卒業生59名のうちの26名が本学や他大学の大学院に進学し、就職を希望した学生は、ほぼ希望者全員が職に就いています。就職先は例年と比べてさほど大きな違いはありませんでした。

今年の4月には、定員50名に対して47名の新たな入学生を迎えました。若干の定員割れですが、これは今回から理工学部で導入された追加合格制度への対応の結果だと見ています。というのも、学科創設のころは本学科の倍率も合格最低点も本学部の他学科に比べて高かったのですが、近年は理工学部内の他学科と比べてもさほどでもなく、いわゆる地盤沈下のような傾向でした。そこで失地回復を図るために、今回はなるべく倍率や難易度が高くなるように合格ボーダーを予想より高めに設定したのです。当然、合格者数を厳選すれば入学者数の不足が起こりますので、新たな追加合格制度による補充を期待した訳ですが、追加合格者からは期待したほどの入学者がなかったということです。

本学科ができた10年ほど前は、日本中で一種のブームのように環境系の大学、学部、学科が誕生し、志願者が集まりましたが、それも昨今は幾分落ち着いたようです。これまでは、全国の似たような学科がそうであったように、本学科もいろいろな自然科学分野の研究者を寄せ集めたような陣容でした。なおかつ研究内容も、それぞれの担当者が「環境的なこと」を看板に掲げながら、以前の研究をそのまま引きずっているようなところも見受けられました。これからは当初の学科設立の目的である「世界が直面する環境問題の解決に貢献できる人材を育成することを目指す学科」として環境分野の学問を、どのように有意義に展開していくのかが真に求められているのだと思っています。

とはいえ、これまでの学科の努力で、大学院ドクターコースの学生も増え、海外から国費の留学生がドクターコースの学生として本学科を強く希望して入学してくるなど、徐々に力強さを増してきています。これからの10年が本学科にとって非常に大切だと私は思っています。

教員の構成は昨年と同じで、地球システム科学研究室(林田明教授, 福間浩司准教授), 人間環境研究室(山下正和教授), 環境保全・防災科学研究室(増田富士雄教授, 横尾頼子助教), 環境システム工学研究室(盛満正嗣教授), 地域環境研究室(山根省三准教授), 生命環境保全研究室(武田博清教授, 光田重幸准教授), 新エネルギーシステム研究室(後藤琢也准教授)です。なお、昨年道越秀吾助教が任期付教員として在籍しています。

教務主任 山下 正和

数理システム学科

当学科は学科発足から6年の理工学部では最も若い学科です。本年度の一般入試においては、少し厳しめの合否判定を行ったのですが、それでも入学定員を確保することができたことは、学科設置の趣旨が世間に受け入れられて来たことの証しであると考えています。

本年度の卒研(4年次生)は32名で、人数が若干少ないのは、主として、この学年(2010年度生)の入学生が少なかったことによります。今年の卒研の進路希望は、従来と傾向は変わっておらず、金融系、情報系、教員が多くなっています。教員採用試験についてはまだ最終結果が出ておりませんが、金融系、情報系を含めて就職は順調です。また、大学院進学希望者は内部外部を合わせると例年より多めで、7月上旬数理環境科学専攻の大学院入試には推薦者6名を含む13名が受験し、全員が合格しております。一方で、大学院数理環境科学専攻の数理部門(修了予定者は8名で内女子が5名)の就職は既に金融系および情報系などに内定を得ています。

学科発足から6年間、基礎教育を重視し、少人数制で演習やゼミナールを行い、コンピュータの実習なども必修として設置し、教育を行ってきました。その結果優秀な人材が育ってきているように思います。現在カリキュラムについての検討を開始していますが、カリキュラム改訂の方向性については現段階では暗中模索状態です。新しい学科のため、同窓会員の皆様におかれましては、同志社大学理工学部の先輩として、就活生に適切なアドバイスなどを頂ければ幸いに存じます。

現在、病氣療養中の河野明先生の「幾何学研究室」を除く、「代数学」(岡崎龍太郎), 「解析学」(押目頼昌), 「関数方程式」(溝畑潔), 「統計ファイナンス」(津田博史), 「情報解析」(齋藤誠慈), 「計算数理」(三井斌友), 「離散数理」(渡邊芳英)の7つの研究室(カッコ内は担当教員)で教育・研究にあたっております。

教務主任 渡邊 芳英



理工学部紹介

右の表は、理工学部の新入生、在籍者数、卒業予定者数、理工学研究科の新入生、在籍数のデータをまとめて示しています。学部が情報系、電気系、機械系、化学系と環境、数理の10学科で、大学院は情報系、電気系、機械系、化学系と数理環境系の5専攻です。

	理工学部			理工学研究科			
	学科名	2013年度 新入生	在籍者数	卒業予定 者数	専攻名	2013年度 新入生	在籍者数
	インテリジェント情報工学科	85	371	86	情報工学専攻博士課程（前期）	79	159
	情報システムデザイン学科	83	399	114	電気電子工学専攻博士課程（前期）	68	148
	電気工学科	81	366	95	機械工学専攻博士課程（前期）	88	184
	電子工学科	72	377	94	応用化学専攻博士課程（前期）	72	167
	機械システム工学科	91	448	132	数理環境科学専攻博士課程（前期）	25	50
	エネルギー機械工学科	63	332	89	合計	332	708
	機能分子・生命化学科	94	398	91	情報工学専攻博士課程（後期）	2	7
	化学システム創成工学科	92	405	91	電気電子工学専攻博士課程（後期）	3	9
	環境システム学科	47	231	54	機械工学専攻博士課程（後期）	5	15
	数理システム学科	43	208	39	応用化学専攻博士課程（後期）	4	13
	合計	751	3535	885	数理環境科学専攻博士課程（後期）	2	7
					合計	16	51

理工学研究科機械工学専攻「安全技術者養成コース」

機械工学専攻主任
高岡 正憲

近年、ものづくりの現場ではベテラン設計者が大挙していなくなり、若い設計者の経験不足が顕在化しつつあります。安全・安心を確保した製品、機械・構造物、生産システムの設計・開発には、機械工学の基礎を十分理解した上でリスクマネジメントにも精通した技術者、環境面での安全にも配慮できる研究開発者が必要です。そのため、技術者は若いうちに（＝大学院で）、安全・安心設計の素養となる専門的知識を修得し、安全設計の重要性を体得する必要があります。

このような背景のもと、同志社大学理工学研究科機械工学専攻では、文部科学省が主催する平成20年度「大学院教育改革支援プログラム(3ヶ年)」に「安全・安心の設計システム技術者養成課程」を申請し、採択されました。3年間の試行期間を経て、平成23年4月より、学内の正式なコースとして機械工学専攻の「安全技術者養成コース」を設置しました。本コースでは、講義と安全安心実習(インターンシップ)の両面で学生を教育します。機械工学の主要分野である材料、熱・流体、振動・制御・生産システムの各分野における基礎学力をバランスよく修得し、機械装置・構造物の設計に不可欠な基礎学力をしっかりと身に付けると共に、安全に関する規格、法律、技術者倫理を体系的に学びます。また、安全安心実習では国内、あるいは海外の企業等でリスクマネジメントを実践・体験します。年度末には、安全安心活動報告会でインターンシップを通じて学んだことを発表します。安全設計を体得し、安全・安心が最優先の素養を持った技術者を輩出することが本コースの目標です。

平成20年度の「課程」発足当初は、学生の自主的応募も少なく、また、生憎の不景気のため、学生を受け入れていただけの企業を確保するのも苦労しました。しかし、年を追うごとにコースの内容を充実させることができました。これは、安全安心実習に当たって学生を受け入れていただいた企業等のご理解とご協力の賜物です。また、熱心に講義をしてくださった学外の講師(工学の専門家(工学博士(機械))の学位を有する弁護士)、厚生労働省専門官、JAXA 安全審査担当者(工学博士))の方々のお力添え無くして本コースを実施することはできませんでした。加えて、専攻一丸となって本プログラムに取り組めたことも成功の鍵でした。本コースの実績に対する評価が学生の間にも浸透、定着してきたようで、ここ数年は機械工学専攻の半数近くの学生が本コースを登録・履修するほどになりました。本稿をお借りして、皆様方のご厚情に謝意を表します。また、卒業生の皆様には、本コースの趣旨に沿ったインターンシップ学生の受け入れなど、一層のご協力をお願い申し上げます。

博士課程教育リーディング・プログラム

「グローバル・リソース・マネジメント(GRM)」のご紹介

高等研究教育機構 助教
GRMキャリアコーディネーター
上田 光明

平成24年度文部科学省『博士課程教育リーディング・プログラム(リーディング大学院)複合領域型(多文化共生社会)』に採択された「グローバル・リソース・マネジメント(GRM)」プログラムは、高等研究教育機構(副機構長:和田元電気工学科教授)の元に設置された文理融合の博士前期・後期課程一貫の教育プログラムです。

現代世界、とりわけ最困難国や新興国が抱える問題について、人文・社会科学のみ、あるいは理工学のみ知識をもつ人材にできることは限られています。理工学の知識をもちつつマネジメントや社会貢献を考えていかなければ、異文化との共生は実現できません。また、逆に、人文・社会科学について深い知見を有していても、インフラストラクチャーや資源・エネルギーについての知見をもたなければ、人類社会の安定には貢献できません。

本プログラムでは、理工学研究科とグローバル・スタディーズ研究科を基幹研究科として、長年にわたって蓄積してきた資源・エネルギーに関わる自然科学的な知の体系と、多文化共生に関わる人文・社会科学的な知の体系を融合させ、「グローバル・リソース・マネジメント(GRM)」という学問新領域を設定し、強靱な精神と高度な倫理観をもって、世界の持続可能な発展と人類の多文化共生に寄与できるグローバル・リーダーの養成を目指します。



本プログラムにおける文理融合教育の目玉ともいえるGRM科目、コモン演習とオンサイト実習についてここで少しご紹介させていただきたいと思います。

コモン演習は、文系・理系の学生が共同で受講し、共通課題についての議論・演習を通して文理融合の発想を鍛錬するというものです。本年度は8月に烏丸キャンパスのラーニングスタジオで行われました。オンサイト実習は、僻地や離島での資源やエネルギーの実際の運用方法を見ることで、最困難国や新興国での資源・エネルギーに関わる問題解決のアイデアを学生に掴んでもらおうというものです。昨年度3月の宮古島に引き続き、本年度は8月に北海道の利尻島で実施されました（写真）。ともに、学生だけでなく教員の方も多数出席され、活発な議論が交わされました。

「夢・化学21」のご紹介

機能分子・生命化学科 助教
北岸 宏亮

化学系では毎年オープンキャンパスと同日に、化学系独自のイベント「夢・化学21」を（社）日本化学会の共催のもとで行っています。

私は2011、2012年度の際に世話役を務めさせていただきました。インターネットのホームページ上で告知しますと、毎年150名ほどの化学に興味がある高校生（1-3年生）が応募してきます。「燃料電池で発電しよう」「ナノ蛍光分子をつくろう」「DNAを細胞から取り出そう」など、有機化学・無機化学・電気化学・物理化学・高分子化学・生化学の実験テーマの中から2つ希望するものを選び、大学の実験室で実験体験してもらいます。参加費は無料です。



参加者に話を聞くと、現在の高校のカリキュラムでは化学実験に費やす時間がほとんどなく、机にむかって勉強するのみで、中にはまったく化学実験をしたことがないという高校生もいます。そういった高校生たちが目を輝かせて実験に取り組む姿は真剣で、その姿を見ると、世話役は大変でしたが、やってよかったと思いました。将来、この子達が同志社大学理工学部に入學し、いつか一緒に研究室で最先端の研究をやっていければと思いながら、毎年取り組んでいます。

子供達のなかには親御さんが同志社出身で、親に勧められて参加した子も少なからず見受けられました。卒業生の皆様で高校生のお子様がおられる方は、ぜひ同志社のホームページをチェックしていただき、「夢・化学21」への参加を促していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

What's New!

DoKo ネットへの皆様からの記事の投稿をお願いします。
同窓会の開催案内・報告、近況報告など、お気軽にご投稿頂きますよう、お願い致します。

加納航治先生退職記念事業案内



同窓会会長（1997～1999年度）としてもご尽力いただきました加納航治先生は、平成26年3月末日をもちまして同志社大学理工学部の教授職から定年退職されることとなりました。

このたび先生のご退職にあたり、永きにわたるご研究のご功績を讃え、幾多のご指導に感謝するとともに、今後益々のご健康とご活躍を祈念するための退職記念事業として、（1）記念講演会、（2）記念祝賀会、（3）退職記念誌の発行などを行いたく存じます。

つきましては、この趣旨にご賛同のうえ、皆様のご支援・ご協力を賜りたく、ご案内させていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。

発起人代表 小寺政人 同志社大学理工学部教授

運営委員 北岸宏亮 同志社大学理工学部助教、根木滋 同志社女子大学薬学部助教

記念講演会および祝賀会は、2014年5月3日（土）に京都市内にて開催を予定しております。

参加をご希望の方は、本事業ホームページ（<http://www1.doshisha.ac.jp/~kanokoji/index.html>）にて、お名前とご連絡先をご登録ください。後日に案内状を送付させていただきます（2014年年始に送付予定）。

ご不明な点は、運営委員（北岸）まで直接お問い合わせください。

（TEL:0774-65-7442（直通）、E-mail: hkitagis@mail.doshisha.ac.jp）

多くの卒業生の方々のご参加をお待ちしております。

雨谷昭弘先生退職記念祝賀会



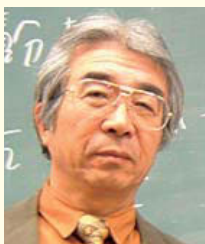
雨谷昭弘先生は、2014年3月末に同志社大学を定年退職されることとなりました。
先生の数多くの卓越した研究成果をたたえ、長きにわたる愛ある教育へ感謝申し上げますため、2014年4月29日(火)午後、京都市内にて、研究室OB・OG会(記念祝賀会)を開催することとなりました。

雨谷研究室(電力研)ご卒業のみなさまのご連絡先を、下記宛まで電子メールで2013年末までにお知らせいただければ幸いです。祝賀会のご案内は、2014年2月ごろお送りする予定です。

専用電子メール：pslab2014@gmail.com

発起人：長岡直人、馬場吉弘

小泉孝之先生御退職記念パーティー



小泉孝之先生が、2014年3月末をもってご退職されることとなりました。

小泉先生のご退職にあたり、先生のこれまでのご功績を讃え、長年のご苦勞をねぎらうとともに、今後ますますのご活躍を祈念いたしまして、2014年5月4日(日)13時30分～16時30分、ホテルグランヴィア京都にて、退職記念パーティーを開催することとなりました。

連絡先 辻内伸好 (TEL：0774-65-6493, E-mail：ntsujic@mail.doshisha.ac.jp)

発起人 研究室OB・OG会

「50周年記念愛友会」(昭和38年工業化学科卒同窓会)開催案内

○日時：2013年11月9日(土) 午後5時～7時

○場所：新島会館

尚、当日追加イベントとして、新校舎「良心館」、「志高館」の見学、及び「八重さんゆかりの地」散策を計画しております。参加ご希望の方は、午後1時に「ハリス理化学館」前に集合。

連絡先 愛友会事務局 布施 TEL・FAX：(079)438-1661 E-mail：hirofuse@bb.banban.jp

「比叡会」(電気化学研究室同窓会)開催案内

○日時：2013年11月9日(土)

○講演会：13:00～16:10 / 田辺校地 知真館2号館 206号室

講演者：川辺勝治氏 (S55年卒) 高岡市立川原小学校 校長 /

松水平伸一氏 (S57年卒) 有限会社トレジャーアイル社 社長 / 前川拓士氏 (M2)

○OB, OG研究室見学会：16:20～17:00 / 電気化学研究室 (至心館3階) 院生説明

※お車でのご来場はご遠慮願います。お越しの際は、公共の交通機関をご利用下さいます様お願い申し上げます。

○懇親会：18:30～21:00 (若干後ろにずれる可能性あり)

ト一 / 京都市中京区富小路錦小路下ル西大文字町599 TEL 075-233-0338 HP <http://www.to-1.info/>

☆参加費：8,000円 (卒業5年以内は5,000円) ※研究室訪問、講演会傍聴のみの方は無料です。

世話役：比叡会会長 東城哲朗, 事務局 電気化学研究室 西村彩, 道堀裕介 (M1), 金澤亮太郎 (M1)

比叡会HPアドレス <http://hieikai.zrb.jp/>

「新葉会」(新井・青山ゼミ同窓会)開催案内

○日時：2013年11月9日(土) 午後6時～午後8時

○場所：水だき 鳥料理 本家 鳥初 京都府京都市中京区姉小路通河原町西入恵比須町428

電話：075-231-4861 URL:<http://www.kyoto-torihatsu.com/>

○会費：8,000円

世話役：大枝正人 (TEL：090-8574-0131, E-mail：moeda@oeda.com), 一瀬倫, 西埜毅

機械学科新井研究室1977～1980年卒業生がお声がけして開催しますが、卒業年度関係なく、新井研究室・青山研究室ご出身の方のご参加をお待ちしております。

理工学部父母懇談会

例年、京都・名古屋・博多において、理工学部主催の父母懇談会が開催されています。理工学部教員と進学、教育問題について、お気軽にご相談いただけます。なお、本年は、下記の会場にて開催されました。

■2013年度実施会場

- ・名古屋会場 5月25日(土) 13:00~16:30 今池ガスビル7階 名古屋市千種区今池1-8-8
TEL.052-732-3211 (東邦不動産(株)ビル事業部)
- ・京都会場 6月1日(土) 13:00~16:30 同志社大学京田辺キャンパス 知真館(TC)2号館201番教室
京田辺市多々羅都谷1-3 TEL.0774-65-6200 (同志社大学理工学部事務室)
- ・博多会場 6月8日(土) 13:00~16:30 福岡商工会議所3階 福岡市博多区博多駅前2-9-28
TEL.092-441-1110

また、理工学部主催の父母懇談会とは別に、全学的な催しとしてキャンパスフェスタが、次項の日時場所で開催されます。各会場には、理工学部教員も参加されています。特に東京、山口会場には全系列の教員が参加して、個別懇談を行う予定にしておりますので、このキャンパスフェスタへのご参加もご検討ください。

同志社大学キャンパスフェスタ

今年も、下記の日程で「同志社大学キャンパスフェスタ」を開催し、校友の皆さま、在校生のご父母、受験生などとの交流を行います。内容は、学長による大学紹介、講演会、キャリア支援や入試に関する説明など盛りだくさんです。岐阜(7/15)・福島(7/20)は、既に終了しましたが、以下の日程で、今後も各地で開催されますので、皆さまの参加をお待ちしています。

10/5(土) 東京, 10/12(土) 大分, 11/4(月・祝) 高知,

11/17(日) 秋田, 11/24(日) 山口

10月以降の開催について詳細は、ホームページ

(http://www.doshisha.ac.jp/alumni/info/c_festa.html)にてご確認ください。

■主なプログラム

- ◎大学の近況報告(村田晃嗣同志社大学長)
- ◎キャリア支援・地元企業などからの説明
- ◎個別学部による説明・相談&入試・学生生活相談コーナー
- ◎入試説明会・模擬講義

同志社大学 キャンパスフェスタ

7/15(土) 岐阜
7/20(土) 福島

同志社大学 キャンパスフェスタ 7/21(日) 津

D-egg(同志社大学連携型起業家育成施設)のご紹介

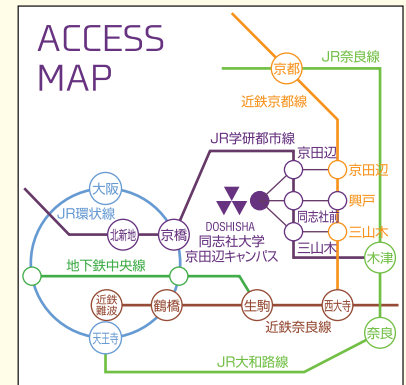
独立行政法人中小企業基盤整備機構は、同志社大学のシーズや地域資源を活用し、大学発ベンチャーの起業、中小企業等の新規事業展開を支援するため、京田辺校地北門の北約100メートルの大学校地内にインキュベーション施設「D-egg」を2006年9月に竣工しました。同年12月に入居開始、2013年9月現在19の企業が入居し、インキュベーションマネージャー3人(中小企業基盤整備機構1名、京田辺市1名、同志社大学1名)を配置しています。

建物は「業(なりわい)が成る館」として「業成館(ぎょうせいかん)」と名付けられ、大学キャンパスの入り口や建物案内などに記載されています。

D-eggの愛称は?

「同志社大学のシーズ(エッグ)を事業化する」、「有望な起業家(エッグ)を育成する」、「地域資源(エッグ)から新たな地域活性化事業が生まれる」などの意味があります。

問い合わせ先 〒610-0332 京都府京田辺市興戸地蔵谷1番地
同志社大学京田辺キャンパス業成館
Tel : 0774-68-1378 Fax : 0774-68-1372
URL : <http://www.smrj.go.jp/incubation/d-egg/>



同志社大学理工学部70年史編纂 ～進捗状況のご報告～

同志社大学理工学部70年史編集委員会
委員長 加藤 利次

皆様よりご協力をいただいております。70周年記念誌の進捗状況をご報告いたします。

現在ほぼ全ての取材を終え、ご投稿いただいたOBの皆様方、取材した先生方に目を通していただいております。各研究室の紹介記事につきましても、ご協力を賜りまして、おおむね集まりました。また、同窓生の皆様からは、卒業アルバムや写真、当時のノートなどの貴重な資料をご提供いただき、厚くお礼を申し上げます。これらの資料につきましては、デジタルスキャンを施して、保管しております。

当初は各学科系列の設立の経緯や各界でご活躍のOB、OGの方々からご投稿いただきました思い出話をまとめるだけの計画でしたが、やはり理工学部全体を通しての歴史も掲載が不可欠であるため、ハリス理化学校の歴史も含めております。また、取材を通して、創造科学教育研究所の重要性が認識され、新たに一章設けることとなりました。

この70年史の中心となる「各系列の歴史」でございしますが、複数の先生方からお話を伺い、社史資料センターなどに保管されている大学の広報、同志社百年史などと合わせて構成しております。先生方に貴重な時間をいただいた甲斐があり、大変読み応えのある章になっておりますので、ぜひご期待いただきたく存じます。また、研究室名も時代を経て変化してまいりましたが、巻末にはその変遷も掲載いたしますので、同窓生の皆様が所属されていた研究室が現在どのようなことを研究対象にしているかも一覧できるようになりました。これもこの70年史の特色でございします。

同志社大学理工学部の歴史をとどめ、また未来の発展に続く70年史の刊行を目指しております。来春のお披露目をめざして、心を込めまして編集制作に邁進いたしますので、どうぞご期待ください。

新しくなった今出川キャンパス

大河ドラマに登場する山本覚馬（同志社創立者の一人で八重の兄）が幽閉された薩摩屋敷跡（同志社中学の岩倉移転後）に建設された良心館は、京都市地下鉄の今出川駅北出口から直接入ることが出来、良心館地下1階のサンクンモールへ繋がっています。

日本の大学生協で2番目に大きな売り場面積をもつ書籍部をはじめ、Book&Shop、食堂、コンビニなど、厚生施設が充実いたしました。サンクンモールの広い階段を上がると右に彰栄館、正面に図書館、明德館、左に同志社チャペルが見えます。

4月から文系（文・法・経済・商）の1・2年生約6,700名が京田辺から今出川校地へ移ったことによる同志社生協各店舗の4～7月の利用者数の変化をみますと、新しい生協施設の利用者率が約20%増加したと推測できます。



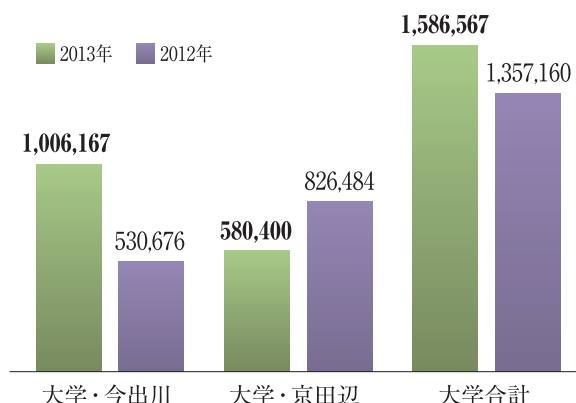
新しくなった今出川キャンパス



今出川駅北出口から直接校内へ入れる入口

同志社大学 今出川校地と京田辺校地 4月～7月利用者数前年比較

店舗名	利用者数(4-7累計)			
	2013年	2012年	前年比較	増加率
大学・今出川				
コンビニ(良心館に移動)	416,751	159,920	256,831	160.6%
旅行サービス(良心館に移動)	4,038	3,177	861	27.1%
Book&Shop(良心館に移動)	92,316	59,797	32,519	54.4%
明德館食堂	55,067	143,016	▲87,949	-61.5%
良心館食堂(新設)	237,347	0	237,347	
良心館ベーカリー(新設)	39,968	0	39,968	
志高館コンビニカフェ(新設)	242	0	242	
新町ショップ	87,075	94,028	▲6,953	-7.4%
新町カフェテリア	73,360	70,679	2,681	3.8%
今出川キャンパス合計	1,006,167	530,676	475,491	89.6%
大学・京田辺				
京田辺コンビニショップ	222,507	341,575	▲119,068	-34.9%
京田辺書籍	20,662	46,149	▲25,487	-55.2%
京田辺旅行サービス	1,385	3,344	▲1,959	-58.6%
紫苑館食堂	162,480	223,455	▲60,975	-27.3%
京田辺カフェテリア	75,629	98,259	▲22,630	-23.0%
ローム館ジョアミ(ベーカリー)	37,353	61,825	▲24,472	-39.6%
デイヴィス・カフェ(体育食堂)	60,379	51,802	8,577	16.6%
京田辺キャンパス合計	580,400	826,484	▲246,084	-29.8%
同志社大学 計	1,586,567	1,357,160	229,407	16.9%



応用物理学会秋季学術講演会で賑わう

2013年第47回応用物理学会秋季学術講演会が京田辺キャンパスで9月16日～20日開催され、理工学部と生命医学部の先生方による現地実行委員会がお世話されました。

初日は台風18号による嵐山渡月橋の浸水を始め、東京からの新幹線運行中止、大津からの交通も遮断されましたが、アメリカの材料学会(MRS)とのジョイントシンポジウムで京都市内に前泊された海外からの参加者など、近鉄利用の参加により計画どおり実行されました。

懇親会はセンチュリーホテルで開催(260名参加)、発表会場は知真館、夢告館、恵道館、展示とポスター会場はデイヴィス記念館、大会本部ラウンジ棟、登録事務は多目的ホール(ハローホール)、食事は食堂・購買棟、紫苑館生協食堂、デイヴィスカフェ、交通は近鉄新田辺駅とキャンパスとの臨時バス(奈良交通)によるピストン運転で対応していただきました。6,734名の参加登録者で、多くは近鉄新田辺駅からの臨時バスで会場へ来られました。

日刊工業広告社による展示会場のデイヴィス記念館は、秋季応用物理学会展示会では史上最大数の企業参加があり賑わっておりました。約130名の学生アルバイトさんにも大いに活躍いただきました。

関連サイト = <http://www.doshisha.ac.jp/news/2013/1001/news-detail-1126.html> (大学ホームページ「最新のニュース」)



講演会会場(京田辺キャンパス)



懇親会(センチュリーホテル)



解散式での実行委員長挨拶

同窓会報「DoKoネット」に関するアンケート集計結果

本年3月に実施した、「DoKo ネット」に関するアンケートの集計結果が出ましたので、ご報告致します。

発送数 5,456通(宛先不明142通) 回答数 165名(6月21日現在)

Q1. 同窓会報「DoKo ネット」はホームページ上でも閲覧できるようになりましたが、引き続き郵送をご希望されますか。

Q2. 同窓会報「DoKo ネット」をホームページ(スマートフォン、タブレット含む)で閲覧できることをご存知ですか。

Q3. 同窓会報「DoKo ネット」について

Q4. Q3で「全然読まない」と回答された方のみにお伺いします。

理由：・同窓会に関して関心がない。 ・必要性がない。
・興味のある情報がない。 ・読みにくい。

Q5. 好きな記事はありますか。(以下、「ある」と回答いただいた内訳)

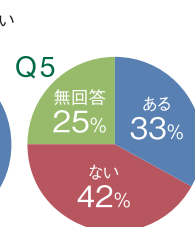
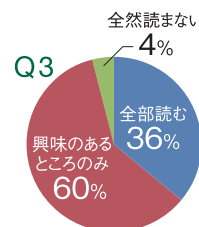
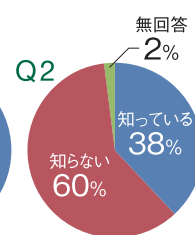
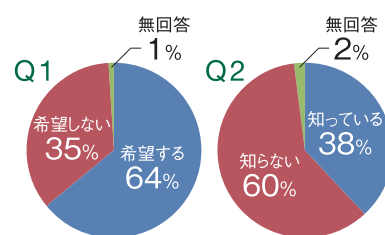
- ・大学、学部近況報告…26名
- ・What's New!(同窓会報告含む)…15名
- ・特集(70年史含む)…9名
- ・ひとことエッセー、OBからの投稿記事…6名
- ・同窓会活動、リユニオン(同志社タイムズ記事紹介、消息含む)…3名
- ・表紙写真…2名

Q6. 今後取り上げて欲しい内容は。(40名の方より回答)

- ・在学生…優れた研究テーマ
- ・先生方…近況、消息
- ・卒業生…会社紹介、OBからの投稿記事、活躍の様子
- ・大学全体…最新情報、他学部の近況
- ・理工学部…近況、様子
- ・同窓会…開催案内や実施報告
- ・研究室…最近の動向、研究活動風景、研究成果、研究機材の紹介

Q7. 2013年11月10日(日)の総会・リユニオンに行われる講演会について、講演者の希望などございましたら、お名前をご記入ください。

- | | | | |
|-----------------------|-----------|---------------------------------|----------|
| ・京都大学 IPS 細胞研究所講師 | 高橋和利氏 4名 | ・内閣総理大臣 | 安部晋三氏 1名 |
| ・同志社大学大学院ビジネス研究科教授 | 浜 矩子氏 2名 | ・株式会社ジェイテクト監査役 | 新美篤志氏 1名 |
| ・同志社大学学長(法学部教授) | 村田晃嗣氏 1名 | ・京都大学原子炉実験所教授 | 山名 元氏 1名 |
| ・同志社大学大学院脳科学研究科教授 | 杉本 八郎氏 1名 | ・篠田プラズマ株式会社社長兼社長 | 篠田 傳氏 1名 |
| ・京都大学 IPS 細胞研究所教授 | 山中伸也氏 1名 | ・シンクタンク・ソフィアバンク代表 | 田坂広志氏 1名 |
| ・NHK 大河ドラマ「八重の桜」製作関係者 | 1名 | ・同志社大学商学部 1990年卒業 | 沼田宏文氏 1名 |
| ・東京大学特別荣誉教授 | 小柴昌俊氏 1名 | ・静岡県立大学グローバル地域センター特任教授(軍事アナリスト) | 小川和久氏 1名 |



電気・電子卒業45周年同窓会にて

同志社大学工学部電気工学科・電子工学科 1964年度生の卒業45周年同窓会を平成25年4月14日（日） 帝国ホテル大阪で開催致しました。

参加者は電気工学科 23名（全員で97名 内物故者 11名）、電子工学科 16名（全員で80名 内物故者 7名）、合計 参加者39名+同伴者1名 招待者先生4名+同伴者1名 総計45名

今年はNHKの大河ドラマ「八重の桜」又、今出川校地への文系学部移行で今出川が活性化されていることの話が主体になった同窓会でもありました。

我々の時代には京田辺校舎は無く、今出川・新町校舎で勉強してきましたので興味津々なところもあります。

1964年同志社大学入学生は昭和20年の終戦の年に生まれた人が主体となっていて、終戦のややこしい時に親に苦勞をかけて生まれてきたと思います。また、その年には、新幹線が開通し、東京オリンピックが開催された華やかな思い出に残る年の入学でもありました。

我ら1964年度生は、電気工学科では卒業以来5年ごとに、また電子工学科との合同では卒業20周年より5年ごとに同窓会を実施しております。また別に関西の人を主体に、1964年度をもじって「むしの会」として、年2回のゴルフコンペ・忘年会・その他飲み会等を都度行って親交を深めています。都合が付けば遠方の人も参加して頂いたりして、楽しく開催しております。

今回の同窓会も米国・東京・九州等の遠方からの参加者もあり、懐かしく・賑やかに行われましたが、皆さんかなり老けた方も多くみられ、やはり卒業45年を感じられました。次回の卒業50周年の同窓会及び都度開催しています「むしの会」にも同期生が参加下さるようお願い致します。



川瀬 輝久（1964年度生：電気工学科）記

Q8. 同窓会報に関するご意見・ご要望などご自由にご記入ください。

<DoKo ネットの郵送について>

- ・ホームページのアドレスや発行情報をメールで配信してはどうか
- ・郵送、ハガキは費用がかかるので、HP・メールで連絡してはどうか

<DoKo ネットの内容について>

- ・卒業後 35 年、楽しみにしており、読ませていただいております。
- ・永久に続けてください。
- ・新卒の方の同窓会へのコメント記事を掲載してほしい。
- ・社会で活躍するOBが母校同志社を活用したいと思う情報を提供してほしい。また、卒業生の活躍状況などを知りたい。
- ・各研究室の紹介等を掲載してほしい。
- ・若い人の特集や記事、新規研究テーマなどの掲載を希望する。
- ・技術情報などがあれば掲載して欲しい。
- ・ありきたりの記事ではなく、目からウロコの話に掲載してほしい。
- ・会報に関して余り面白みがない。
- ・内容が簡単すぎて、概要の把握が出来ない。

<同窓会について>

- ・機械学科 5 期生の同窓会「五機会」を毎年 6 月に開催。今年 80 歳の半数健在。
- ・「同電 31 会」を定期的（隔年）に 5 月開催している。
- ・同窓生（S34 卒化学）の集まりを催すが、旧友が少なくなった。
- ・元木ゼミの同窓会が行われた事を知らなかった為、次回開催される場合は、是非参加したい。
- ・クラブを通じたOB会の交流はずっと続いているが、学部での横のつながりはあまりないため、同学科・同学年の集まりが企画されると参加してみたい。

<その他>

- ・希望者や新卒生には会費の支払いを銀行口座の自動払いあるいはクレジットカード払いにしてはどうか。
- ・退職後、情報交換ができる“場”を提供ください。
- ・山口県（宇部市）の同窓会組織があれば知りたい。
- ・新島会館にて露口卓也文学部教授より八重さんのお話を拝聴しました。

同窓会活動・リユニオン

2012・2013年度 理工学部同窓会幹事会記録

★2012年度

- 2012年5月12日(土) 第1回幹事会 審議：昨年度の事業・会計報告と今年度事業計画・予算
- 2012年7月14日(土) 第2回幹事会 審議：DoKoネット第16号および2012年度総会・リユニオンについて
- 2012年8月25日(土) 第3回幹事会 審議：DoKoネット第16号および2012年度総会・リユニオンについて
- 2012年10月20日(土) 第4回幹事会 審議：2012年度総会の議題について
- 2012年12月22日(土) 第5回幹事会 協議：総会・リユニオンの報告 審議：DoKoネット17号 幹事会終了後、懇親会開催
- 2013年3月2日(土) 第6回幹事会 審議：DoKoネット17号, 本年度予備決算および次年度事業計画・予算

★2013年度

- 2013年5月11日(土) 第1回幹事会 審議：昨年度の事業・会計報告と今年度事業計画・予算
- 2013年7月13日(土) 第2回幹事会 審議：DoKoネット18号及び2013年度総会・リユニオン・講演会
- 2013年9月1日(土) 第3回幹事会 審議：DoKoネット18号及び2013年度総会・リユニオン・講演会

2013年度 理工学部同窓会総会・リユニオンのご案内

大学のホームカミングデーにあわせ、下記の通り開催致します。
「同志社大学ホームカミングデー 2013 (2013年11月10日開催)」
URL：<http://www.doshisha-koyu.net/index.html>

○日 時：2013年11月10日(日)

○場 所：今出川キャンパス

12:30～13:45 卒業生交流レセプション 寒梅館1階特設会場
会費：2,000円

14:00～15:00 総会 良心館103教室
審議事項

1. 2012年度事業報告
2. 2012年度会計報告
3. 2013年度事業計画及び予算
4. 次期役員選出
5. その他

15:00～16:10 講演会 良心館103教室

講師 大越 哲仁先生

来場自由
聴講無料

(公益財団法人蘇峰会理事・日本ペンクラブ会員・同志社社史資料センター
第1部門研究会員)

『洋学者としての新島襄と山本覚馬・八重兄妹 ～新島の大学設立運動から
理工学部へ～』



次期役員候補の推薦お願い

会則第6条、第9条により会長、副会長、監事の任期が2年であり、任期が2014(平成26)年3月31日であることより、次期総会で選任する必要があります。総会での選任にあたり候補者の推薦をお願いいたします。自薦、他薦いずれでも結構ですが、他薦の場合は事前にご本人の了解を得ていただきますようお願い申し上げます。事務局まで郵送、ファックスまたは電子メールでご連絡をお願い申し上げます。2013年11月3日(日)をもって締めきりさせていただきます。

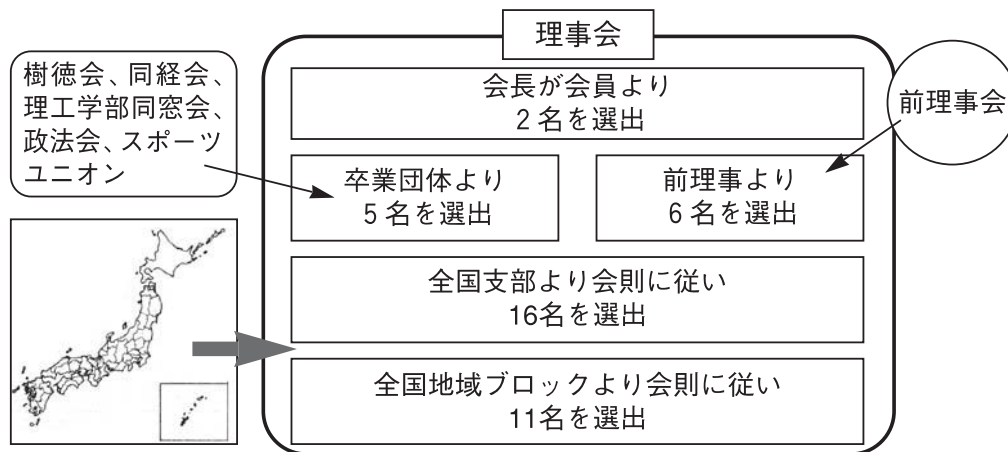
なお、会則第7条により幹事(監事とは別)が会員により推薦されることになっております。適任者があれば事務局までご推薦をお願いいたします。

同志社校友会との関係深まる

「同志社」の卒業生が会員である「同志社校友会」の2013年度総会で、下図のように当会を含む大学が認知している卒業生5団体より理事を各1名選出する新たな会則が平成25年7月1日に施行されました。

詳細につきましては、同志社タイムス(The Doshisha Times)690号(2013年7月15日刊)または「同志社校友会」のホームページ(<http://www.doshisha-alumni.gr.jp/>)をご覧ください。

会則変更による新理事会構成図



事務局便り

DoKo ネット 18 号の誌面にゼミや同期会の案内や報告が掲載されております。皆様方の同窓会を企画される場合に、事務局で会員名簿を閲覧いただくことが可能ですが、宛名ラベルの無料印刷サービスと共に、それぞれのグループへの郵送を有料でさせていただくサービスも行っております。全会員への郵送を行う DoKo ネット秋号発送時期に合わせて郵送を希望される場合は無料でお送りできる場合もございます。ご相談ください。また、開催案内や開催報告をホームページやDoKoネットに掲載することも可能ですので、事務局までどんどん情報を提供いただければ幸いです。

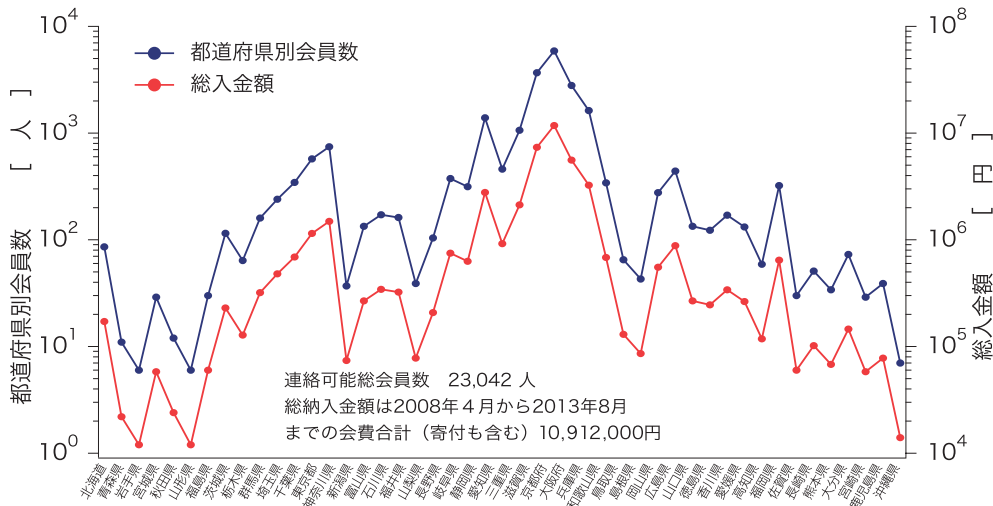
大学の同窓会組織(校友会、校友・父母課)および各学部の卒業生団体(同経会、政法会、樹徳会、心理学会同窓部会)との連携も強くなりつつありますので、支部などの情報もご提供できるかと思えます。

会費納入の都道府県別グラフが出来ました。本会事業は、会員皆様からの会費納入により成り立っています。益々活性化させる上でも、会費納入をお願い申し上げます。また案内状の裏面に同期の方で住所不明の方のリストを印刷させていただいております。ご友人を見つけれましたら、ご一報お願いいたします。



昨年度ご講演時来校の北村泰一先生と良心館1階にて(最左下、事務局の小野裕子さん)

■都道府県別 会員数, 会費納入状況



ハリス理化学館竣工当時の 123年前の今出川キャンパス

ハリス理化学館（重要文化財）は新島襄により定礎式を1889（M22）年11月15日に行い、新島没後の翌年3月26日上棟、1890（M23）年7月に竣工した同志社4番目の洋風建築物で、ハリス理化学校の中心施設として J.N. ハリス氏の寄付により建てられた。

写真は有終館（重要文化財：当時の図書館（書籍館と^{しよじやく}呼ばれていた）より写したもので、画面中程の左右に伸びるのは明德館前の石橋通りと呼ばれた公道であり、ハリス理化学館より右へチャペル（礼拝堂：重要文化財）、彰栄館（裏面：重要文化財）がー列に並んでいる。建物の中央に見える天文台は竣工後の約1年後の1891（M24）年10月28日の濃尾大地震のあと1893（M26）年3月6日に撤去され、現在は天文台に通じる階段のみが残っている。理化学館の後ろには相国寺の桑畑、画面手前左に見える白壁の建物は冷泉家の蔵、右は教室棟である。

彰栄館は1884（M17）年に竣工、同志社最初の洋風建築物で現存する京都市最古の洋風建築物である。外観は洋風、内部の構造形式は純和風の建物。塔屋は鐘塔と時計塔を兼ねている。同志社中学の時代に北側に付置された新彰栄館は取り払われて元の独立した建物になっている。

ハリス理化学校は元々 Harris Science School の名称であったことから1892（M25）年6月1日より名称を「同志社ハリス理科学校」と改称し「理科大学部」と称するようになった。ハリス理化学館は現在改装中で11月より「ハリス理化学館同志社ギャラリー」という名前の建物として新島襄や同志社関係の展示等を行う予定。「同志社社史資料センター所蔵」

同志社大学 理工学会・理工学部同窓会
ホームページアドレス

<http://dokonet.doshisha.ac.jp/>



NEW 同志社大学公式facebook公開（10月1日）

<https://www.facebook.com/doshisha.university>



同志社大学理工学部同窓会報—DoKoネット18号

2013年10月1日発行 発行者：橋詰 源治
〒610-0321 京田辺市多々羅都谷1-3 同志社大学理工学部内
理工学部同窓会事務局 Tel：0774-65-6219 Fax：0774-65-6850
印刷：大枝印刷株式会社 Tel：06-6381-3395 Fax：06-6318-2000

同志社大学理工学部同窓会へのご質問、ご意見あるいは本冊子「DoKoネット」へのご投稿をお待ちしております。同窓会事務局までご連絡、ご投稿下さい。なお、DoKoネットの発送につきましては、大口発送元である株式会社エルネットを発送代行者として発送させていただきます。